

令和7年度狛江市予算

一般会計予算額

363 億 4,200 万円

(前年度比 24 億 2,200 万円、7.1%増)

新たに策定される後期基本計画の初年度となるため、それを着実に推し進める予算としました。少子化の傾向が顕著に表れている、今、様々な角度から市として取り組むべき子育て支援を強化する必要があります。また、刑法犯認知件数が都内区市の中で一番少ない狛江市を強固にするため、防犯対策を推進します。この他、新たにリニューアルオープンする「こまえみらいテラス」など各種事業に取り組みます。

令和7年度の特徴的な事業

■子育てしやすいまちづくり

事業費1億 5,625 万円

◆子育て世帯の負担軽減を図るため、医療費の完全無償化を実施します。

【医療費窓口負担の撤廃】 704 万円

子どもの健康増進と子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、現行の窓口負担200円を撤廃し、医療費の完全無償化を実施します。(義務教育就学児医療費助成・高校生等医療費助成)

◆保育所等の副食費を無償化します。

【副食費の無償化】 4,023 万円

第1子保育料無償化及び3～5歳児クラスにおける副食費等の無償化を実施します。

(市内認可保育所・認証保育所)

※児童発達支援施設等は、給食費の補助制度を創設します。

【幼稚園にも同様の保護者負担軽減を実施】 964 万円

◆子ども居場所確保を着実に進めます。

☞放課後子ども教室整備 6,897 万円

☞学童クラブ民営化準備 1,056 万円

☞子ども居場所づくり支援事業補助金の創設 120 万円

★多世代・多機能型交流拠点では妊婦や子育て中のママ・パパ、赤ちゃんから高齢者までが集う多世代・多機能型交流拠点では、地域のみなさんが、ゆるやかにつながり、安心して子育てできる環境を提供します。

[予算書 : P149 義務教育就学児医療費助成・高校生等医療費助成(子ども若者政策課)、P151 保育所等児童運営費、P152 保育施設等利用児童保護者負担軽減(児童育成課)、P141 障がい児支援事業(子ども発達支援課)、P288 私立認定こども園等運営費(児童育成課)、P291 放課後子ども教室整備事業(施設課・児童育成課)、P165 学童クラブ民営化関係費(児童育成課)、P112 青少年・若者支援事業(子ども若者政策課)、P105 多世代・多機能型交流拠点運営費]



■安心して暮らせる安全なまち

事業費2億 2,075 万円

◆防犯対策を更に強化し、刑法犯認知件数を減少

【住宅等防犯緊急対策事業】 6,256 万円

全国的に増加している住宅への強盗事件を受け、住宅での防犯対策の強化を目的とした東京都の緊急補助制度を活用し、防犯カメラやカメラ付きインターホンといった防犯機器等の購入額を補助し、防犯対策を推進します。

【特殊詐欺対策・狛江駅周辺の防犯カメラ設置】 1,629 万円

☞高齢者等の特殊詐欺対策として、自動通話録音機貸与事業や、高齢者向けイベントでの注意喚起等を行う。

☞新たな賑わいの場所として利活用が始まっている狛江駅前などの防犯対策として、防犯カメラを増設する。

◆地域防災力の強化

【消防団の消防ポンプ車更新】 1億 4,190 万円

地域防災力の要である消防団の消防力を向上させるため、消防ポンプ車を5台更新します。

[予算書 : P72 住宅等防犯緊急対策事業・P70 生活安全対策関係費・P235 消防施設維持管理費(安心安全課)]

■新市民センターリニューアルオープン 事業費13 億 8,396 万円

◆市民の皆さまがより快適で充実した時間を過ごせる、新市民センター「こまえみらいテラス」がリニューアルオープンします。

【「こまえみらいテラス」開設記念事業など】 164 万円

☞中高生世代が主体的に活動できる場所となる「ティーンズルーム」開設

☞施設の利用方法等の紹介を目的とした講座等の実施

【絵本・児童書中心の図書コーナーを開設】 7,000 万円

図書コーナーのお話コーナーで読み聞かせなどを実施

【市民センター大規模改修工事】 13 億 1,232 万円

[予算書 : P303 子ども・若者事業・P306 公民館交流事業(公民館)、P312 新図書館整備関係費(図書館)、P300 市民センター大規模改修事業(施設課)]

